

えひめ千年の森をつくる会

～ 学校、保護者、地域住民が一体となった活動 ～

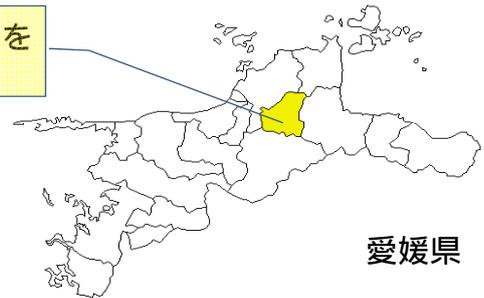
平成12年4月に「えひめ千年の森をつくる会」を立ち上げ、「六つの柱」を基本に活動しています。
その一つが、自然体験教室で、子どもたちに自然体験の場を提供したいという願いから、森林環境教育活動を模索していた地元の西谷小学校、保護者、地域の方と一体となり、平成13年から農林業体験活動を行っています。

長年にわたる地域と連携した活動や、森林、棚田等の自然とのふれあいに関する各種活動が評価され、平成24年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰を受賞しました。

取組主体

- 名称 えひめ千年の森をつくる会
- 構成員 会長、事務局長、会員120名
- 所在地 愛媛県東温市井内甲915-2
- 代表者 会長 鶴見 武道 (愛媛大学客員教授)
- 連絡先 えひめ千年の森をつくる会事務局
- 電話・FAX 089-966-6251
- HPアドレス <http://www.1000-mori.jp/>

えひめ千年の森をつくる会



活動の動機・目的

目の前が開け、遠くに山があり、そして川が流れる大自然の中で、子どもたちが森や棚田で行う自然体験活動を通して、自然に親しみ、周りの生物を大切にしながら豊かな感性を持って生きる力を身につけてもらう。子どもや保護者、地域、先生方、それぞれの学びの場となるように活動しています。

活動の紹介



「六つの柱」を基本に活動しています。

森づくり 世界に開かれた木炭学校 自然農法実践農場 農林産物の加工が学べる
場 (安全で健康によい「食」と、体に優しい家づくりが学べる) ありのままの自分に出会う
場 未来循環型自給をめざした生活の提案

大豆の種まき、田んぼの草取り、ツイストパン作りの様子 (平成24年6月23日(土))

～大豆を播種する子どもたち



草取りは
たのしい～い

10年間 無農薬・無肥料の
水田除草



いいにおい～



ツイストパンを焼く

草は財産。草あってよし。
草と一緒にひとは育ち続ける。



発表会后、全員で集合写真

ヤッ ホオ～



枝打ち

よいしょ

植林の穴掘り!



えひめ千年の森をつくる会

取組内容

地域リーダーが大豆の種まき指導

地域関係者との連携

- ・ 当地に12年前から居住し、8年間地域の神社総代のお役を務めた。
- ・ 自然体験の場を子供たちに提供したいとの思いが、森林環境教育の場を模索していた西谷小学校の考えと合致し、学校や保護者、地域の方が一体となって実施。
- ・ 地域の方がスタッフとなり、支援してくれるので活動が続いている。



体験活動の運営

- ・ 居住前から「千年の森をつくる会」を主宰して活動していた。
- ・ 活動内容は、千年の森をつくる会事務局で提案し、小学校と検討して決める。現地での指揮は事務局長(奥さん)。毎年、体験活動するので興味が持続するように、繰り返しの活動と新しい活動を組み合わせて実施。また、精一杯からだを動かした後は、みんなで安心できる食の体験をする。活動の終わりには、参加者全員がそれぞれ感想を発表する。



事務局長
(恵子さん)

- ・ 最初は、全く農業は分からなかったが、地域の方の指導と協力があったから、今日の活動等がある。活動をやめたいとは思わなかった。
- ・ 学校、保護者や地域の方の協力があるから続けられている。PTA主催の活動として、校長先生が替わってもこの活動を大事に引き継ぎ、継続されてきた。
- ・ 続けることの秘訣は、行き詰まる前にやめること。無理をしないこと。



大好きな景色(自宅前)

参加費の設定

無料。県からの中山間地対策費の一部を体験活動に使用。

参加者の集め方

- ・ 年間の活動予定、活動内容(年8回開催)の周知。
- ・ 西谷小学校児童・教諭や保護者、地域の方に限定。参加者の自由意志で参加、人数制限はしない。

将来の夢(目標)

千年の森をつくる会の基本である「六つの柱」を浸透、進化させていき、全国の活動者との繋がりが強固になり、全国各地での体験活動に参加する者が多くなればよい。
また、参加者が心豊かに生きられればよい。

えひめ千年の森をつくる会 会長: 鶴見 武道



みんなの声

(参加者)

- ・ 自然はおもしろい。森の中は涼しい。体験のことは家でよく話す。(小6・女)
- ・ 家庭での体験は限界がある。子どもたちはおもちゃがなくても外(自然の中)で遊べる。また、机の上の教材は、体験することの大切さは分からない。(30代女性(小1・年長男・幼男))
- ・ 小さい時の体験は、大人になっても何かがあると信じて参加。良い体験である。(PTA役員)



かえるだよ~

(教頭・教諭)

- ・ 西谷小学校全校児童数75名、体験活動に参加している子はなにをしても「てぎわ」がよい。心配ごとは、体験農場までの交通事故。(実習と交通の両方の保険に入る)
- ・ 子どもたちは、学校と違い農場ではイキイキしている。
- ・ 子どもたちが大人になった時に、自然を大切に思う気持ちがある。



感想発表

(スタッフ(ボランティア))

- ・ 今年で13年目になる。気遣うことはけが。大胆な活動も行おうが未だかつてけが人は出ていない。体験した子は、大学生(2年)になっても顔を出してくれる。(地域リーダー・男)